

おしゃれな未来～
環境カウンセラーズ京都
会員の皆さま

理事長通信 No.002 2021.04.15

//////// 森と人とウイルスの関係 //////////

コロナ近況から・・

連日の新型コロナ禍の報道に、うんざり感と危機感で行きどころを探す
思っている方も、たぶん多いと思います。

会員のワクチン初接種は、長谷川さんでしたね。
シェフィールド大学での研究と、時々溪流釣り/仲間との散策/野菜栽培
等で、日常を充実されている様子です。唯、英国内では、厳しい監視体制下
にあること変わらない現況です。

もう1人、上海市在住・商業施設の環境デザイン会社勤務の早川さんが昨日、
接種を受けたとの一報が届きました。
情報共有 OK にて・・>中国シノバック製、不活性ワクチン。
50%の有効確率で、抗体できるか不明の由。

通信本題に移ります・・

森の里山再生と活用目的で『野殿の森』プロジェクトで展開している関係も
あり、個人的にも勉強の機会が増えています。
森と人の月刊誌(森林文化協会版)と、相談相手で森林総合研究所関西支所
の見解を参考に、理解・認識した事を自己質疑応答の形で復唱しています。

1)土に触れての感染の恐れは？

ウイルス感染の恐れは、なし。畑仕事でも土遊びでも同様に、土中粘土には
ウイルスを吸着し活性を失わせる力あり。多くのウイルスが生息するも、感染
相手が決まった土中微生物や植物である。多種のウイルスひとつ一つが低密度
であり、多数の生物体と競合し増殖が常時制御されている。

健康管理面よりは：ー

土に触れた手を洗うことは必要なるも、土との触れ合いにはストレス除去や
免疫力を高める効果も実証されており、人との相性よし！と言える。

2)ウイルスそのものに認識を持つことが必要か？

Yes, タンパク質の殻や膜に包まれただけの単純構造体である。
単独での増殖ができないが、一旦感染相手に侵入できれば細胞を乗っ取り、
大增殖する厄介な微粒子である。今般の変異ウイルスは研究し難く、感染症を
起こすまで未解決である実態と言えそうである。

自然界で土は最もウイルスが多い場所の一つだが、人体内は億単位の細菌/微生物だけでなくウイルスとの共生体でもある。感染率は、土の 10 倍とも言われている。土が少なく、感染好対象の人間都市は特に感染症に対し、脆弱な環境と言える。

3)対応防御策は？

この回答が専門家ですらまだ引出されていない情報の中で、PCR や宿主といった専門用語に翻弄されている自分があり。三密の正確な解釈もおぼつかないでいる。唯々、マスクなしで、今まで過ごして来たような寄り添いと食事/会話で活動が楽しめる日々が紡げることを願うばかりである。やっぱり、三密回避のグルグル……でしょうか！！

土について、一言の補足です。

宮崎駿監督の映画「天空の城ラピュタ」でヒロイン シータが言います。

..人は土を離れては、生きられないのよ！..っと。

この言葉を糧にプロジェクト推進チームは、森、里山や自然との接点を新年度も深めていきます。

皆さんも、一緒にいかがですか『野殿の森』へ！

～くらしの根っこがあります～

+++++

NPO 法人環境カウンセラーズ京都

理事長 金田由紀夫

kallinchan8243@gmail.com

[090-7490-7851](tel:090-7490-7851)

+++++